



京都府立大学農学部附属農場

食と農の連携

京都府立大学農学部附属農場では、平成20年予定の大学法人化および学部再編に向けて、食の立場から人の健康と文化を教育研究し、専門的職業としての栄養教諭や管理栄養士の養成をおこなう食保健学科との連携による食と農の連携教育事業に取り組んでいます。また、農場独自の地域貢献型食農教育としてユースカルチャーデー(夏休みの小学生コース、秋の一般成人コース)を農場新設以来10年間実施して来ました。特に小学生コースでは学生ボランティアの参加により、こども達だけでなく学生に対する教育的効果にも期待して取り組んでいます。



イネ刈り実習



カキの収穫



ブロッコリー、キャベツの収穫

平成17年度より、食保健学科および生協共催で「おいしい朝食、成績アップ事業」と題して、週1回朝食の提供を行い、附属農場の実習などで収穫した米や野菜、果物などを利用して大学版地産地消による食育を実践しています。

11月7日朝食会アンケート結果

朝食会について



献立・味・量について



農場の新米です!!

★感想★
ごはんが柔らかすぎた。
一人暮らしではなかなか食べれない魚を食べたい。
野菜がしっかり食べられたのでうれしい。
下宿生で、いつも朝はパンご飯だけの食事ですが今朝はたっぷり食べられてよかったです。値段も格安でした。来たいと思います。
最高の企画です!!

米、卵、ブロッコリー、トマト、ホウレンソウ、カキは附属農場で収穫されたものでした。



★今日の献立★
ムギ入りごはん
めだま焼き
ブロッコリーのネギオイル和え
ホウレンソウの豆乳みそ汁
カキ

朝食プログラム実行委員：食保健学科、生協

ユースカルチャーデー 小学生(親子)コース



牛の体重当てクイズ表彰式



学生ボランティアによる指導

朝食献立の一例と学生アンケート結果